

Woman's Vision

薬剤師自身の「チカラ」で 起こした変革の胎動

第1回

「薬局3・0」へ向かい加速するこれからの薬剤師業務

「新連載 これからの薬剤師に大きな期待を込めて」薬剤師歴50余年で感じること〜

ファルメデイコ代表取締役会長 一般社団法人日本在宅薬学会理事／薬剤師 狭間紀代

狭間紀代

超高齢社会を背景に病院完結型の治療から地域で支える包括ケアへと医療の枠組みが再構築される中、薬局薬剤師は、かかりつけ機能の強化など全方位的にその役割を変えようとしている。起業者医師として知られる狭間研至氏(薬剤師あゆみの会／日本在宅薬学会理事長)が提唱する「薬局マネジメント3・0」は今、さまざまな面で理論的支柱となり、各方面に大きな波紋を投げ掛けている。薬局・IT・教育事業を展開するファルメデイコの方向性は、薬局と薬剤師の在り方を凝縮したものである。

薬剤師になって50余りつつあります。対物から対人へ、店頭業務から在宅療養支援業務へ、このときに業務の機械化、非薬剤師の業務内容の変化もまた加速して進んでいくでしょう。

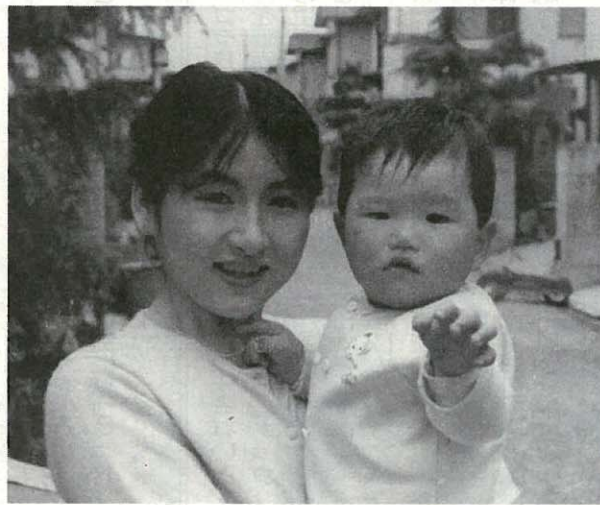
2025〜35年には超高齢社会が際立ち、多死社会の到来も予測されます。自らバイタルサインチェックをし、フィジカルアセスメントを実施し、さらに医師への処方提案、処方薬減薬への提案などさまざまな業務を行ってゆく時期の到来です。

6年制薬学部10期生の卒業も近い現在、薬剤師として薬学的専門分野の知識を駆使して業務を行うこと、1943年に満州国奉天で生まれ、父親が満州鉄道の仕事をしていた関係で、両親は結婚と同時に満州に赴任しました。



はざま きよ ●1965年京都薬科大学卒業、病院薬剤師として就職、67年結婚退職、69年長男・研至氏(ファルメデイコ社長／日本在宅薬学会理事長)誕生、71年次男・洋至氏(大阪労災病院糖尿内科部長)誕生。産後、薬局勤務を経て、76年大阪市平野区でハザマ薬局本店を開業、2003年長男狭間研至氏が社長就任、04年法人化しファルメデイコに名称変更

「健康サポート薬局」が輝く薬剤師業務の展開うたわれる、これからの



長男・狭間研至氏満1歳の誕生日

私からの熱いメッセージをお伝えできればと考えています。これから12回にわたる連載を通して、「私の薬局開局期」「漢方薬販売三昧の日々」「新しい医療環境の創造」「パートナー制」いわゆる薬剤師3・0へと、長男の研至が生まれた3期に分け、各4週7年は、大阪万博が開催された年です。大規模に開催された千里ニュータウンがすごい勢いを持っていました。

引き揚げ船で帰国母の労苦に薬剤師を志望

母は、1943年に満州国奉天で生まれ、父親が満州鉄道の仕事をしていた関係で、両親は結婚と同時に満州に赴任しました。46年、博多港に引き揚げ船で母と姉と弟とで帰国しました。幸運なことに2年後の48年、流行歌「岸壁の母」の舞台となった舞鶴港に父が帰国しました。

その引き揚げ船の中で私は疫病にかかり、瀕死(ひんし)の状態に陥りました。たぐさんの子



※次回は10月9日号にて、「健康サポート薬局」48薬効群、OTC医薬品の選び方と勧め方〜をテーマに、みどり薬局代表・坂口眞弓氏が登場します

ガールでした。

に守り、小学校に入学した私は「将来の夢」を書き社会的時間に「薬専」と書いたそうです。

小学校高学年からは生まれ変わったように元気になり、小学校6年生のときには、女の子ではクラスで一番背が高くなりました。

楽しい小学校生活を送り、当時の大阪学芸大学附属池田中学校に進学しました。府立高校から65年に京都薬科大学へ何の迷いもなく進む素直な女の子だったらしいです。

愉快に遊んではかりの大学生活を過ごし、卒業後は病院薬剤師に勤め、すぐに結婚して2人の男子を授かりました。

長男の研至が生まれた翌70年は、大阪万博が開催された年です。大規模に開催された千里ニュータウンがすごい勢いを持っていました。